

核兵器のない世界を—
行動と共同を県下各地に
ひろげよう！！

2012. 11. 15. No.36

2012 反核平和ニュース

TEL 052-932-3219 FAX 052-931-2651

職場・地域・学園の取り組み、情報をお知らせください

ノーマアヒバクシャ愛知訴訟

司法判断を尊重して原爆症と認めよ！

本日11時から、名古屋地裁で第5回目となるノーマアヒバクシャ愛知訴訟口頭弁論がありました。

冷たい雨が降る中、被爆者10名を含む43名が傍聴に駆けつけました。

口頭弁論で伊藤弁護士は、「脱毛・下痢等の急性症状があったからと言って、被爆をしたと推論するのは誤り」と主張する被告に対して、「長年広島・長崎で調査にあたった科学者による被爆者の実態調査の積み重ねを見れば、脱毛・下痢等が放射線の影響によるものであることは明らかだ」と陳述。また、被告は心因性、PTSD、

感染症論、栄養失調論を繰り返すが、複数の急性症状が同一人に同時に表れるという現象は、他原因論では説明することはできず、放射線の影響以外に考えることは不可能だと反論しました。

傍聴人を裁判官が意識するという場面もあり、今後もしっかりと傍聴組織が必要です。

昨年11月に提訴してから1年が経過し、いよいよ各原告ごとの主張に移っていきます。次回は2月6日(水)11時からに決まりました。みなさんぜひご参加下さい。



仮設住宅への ちひろカレンダーの 普及すすむ！

東日本大震災と福島第1原発事故から1年8ヶ月が過ぎました。いわさきちひろカレンダー」を被災地に贈るキャンペーンの呼びかけに応え、愛知県内でも昨年を大きく上まわり、72,226円が

振り込まれてきています。年末の愛友会との交流会で被爆者に手編みのマフラーを贈ろうと取り組む20人以上のメンバーの中で、口コミで広がっています。11月上旬に第1弾が届けられ「殺風景で寒い仮設住宅の中が暖かい雰囲気になった」と好評です。

ちひろカレンダーも昨年以上に普及が進み、今日現在4051本になっています。昨年の2割り増しを目標に、あと2,000本！ 核兵器廃絶が世界の大勢になってきている今こそ、被爆国日本から核兵器廃絶の世論を広げるちひろカレンダーを思い切って普及しましょう！